

クレジット返済早見表作成 ヘルプガイド



目次

■ HOME	4
■ あらまし	5
■ 最初にサンプルをしてみる	6
■ 概要 / 特長	8
● 通常タイプ(複数ページ)	
■ タイプ選択(メニュー)	9
■ 任意設定タイプ	10
■ 定型 オートローンタイプ	12
■ 定型 ショッピングクレジットタイプ	15
■ 融資タイプ(元利均等払)	17
■ 表紙印刷 (手数料条件非表示)	19
■ 表紙印刷 (手数料条件一覧表示)	20
■ 表紙内容の登録	21
■ マージン設定	22
■ 一部ページ印刷	23
■ ファイルの新旧変換	24
■ 一体型	25
■ PDF印刷 (PDFファイル) のすすめ	27
● 基本的操作	
■ 入力方法	28
■ ファイル操作	29

● 付属ソフト	
■ MD電卓	30
● インストール	
■ インストールについて	31
■ OSについて	32
● サポート / ユーザー登録	
■ サポート	33
■ ユーザー登録	34
● 注意事項	
■ 注意事項について	35

クレジット返済早見表作成



あらまし

このソフトは、クレジット返済早見表を印刷作成するものです。

車のオートローンや家電品、呉服などのクレジット商談をする際に必需品とされる「クレジット返済早見表」は、通常はクレジット会社の支給による製本されたものが一般的です。

しかしながら、刻一刻と変化する金利などのクレジット条件や販売店のリクエスト等に応じた「クレジット返済早見表」はその制作には時間と経費が多大にかかるものとなり、

往々にして必要なときに間に合わないことがあります。

このソフトは、製本された早見表形式に準じ、必要なリクエストに応じた形で、即、対応できるものとして作られました。

ショッピングクレジットのみに限らず、融資タイプや一枚タイプの早見表にも対応した多機能の「クレジット返済早見表作成」ソフトです。

■ 最初にサンプルを見してみる

当ソフトインストール時に同梱されているサンプルファイルで確認してください。

- 同梱されているサンプルファイル

SAMPLE_HAYAMI01.HM1 (金額、回数別に分割計算された内容)

SAMPLE_HYOSHI01.HSI (クレジット名や会社名、他早見表の説明文を含めた表紙)

SAMPLE_ITTAIGATA01.AT1 (上記2つのものが一体型の本になった印刷用のファイル)

SAMPLE_ITTAIGATA001.PDF (一体型のファイルをPDF印刷したPDFファイル)

まず、最終的にこのソフトで出来上がった早見表(一体型)を見てください。

タイトル画面上のメニュー「ヘルプ」内の「見本PDF」クリックで表示されます。

エクスプローラー等で SAMPLe_ITTAIGATA001.PDF をクリックしても見ることはできます。

次に早見表を作る上で作られる各ファイルの中身を見てください。

方法は下記の通りです。

1. 早見表部分(各金額や回数で分割計算されたもの)

ファイル名：SAMPLE_HAYAMI01.HM1

- ① 最初の「クレジット返済早見表作成」のタイトルメニューの「通常タイプ(複数ページ)」ボタンをクリックします。
- ② 「タイプ選択」画面の上の「ファイル」-「ファイルを開く」かもしくは「ファイルを開く」の絵のボタンをクリックします。
- ③ 早見表のファイル名が羅列されていますので、その中の「SAMPLE_HAYAMI01」をクリックすると「条件内容」の画面がでて条件内容が確認できます。

2. 表紙部分(クレジット名や会社名他説明を含めた表紙)

「タイプ選択」画面へ戻り、「表紙印刷(手数料条件抜き)」のボタンをクリックすると、「表紙印刷設定」画面に移り、表紙の設定内容が表示されて確認できます。

3. 表紙と早見表の一体型の内容を確認します。

- ① 「タイプ選択」画面の「6. 表紙・早見表一体型」ボタンの右横に「FL作成」ボタンと「読込印刷」ボタンが並んでいますので、「読込印刷」ボタンをクリックすると「表紙 & 早見表 一体型の読込と一括印刷」画面になりますので、左上の「一体型ファイルを読込」ボタンをクリックすると、一体型ファイルの読込画面となり、その中で「SAMPLE_ITTAIGATA01.AT1」をクリックすると一体型の表紙と早見表の内容が確認できます。

この時点で「プリンターのアイコンの」ボタンをクリックすると、プリンターを選び、実際の印刷となります。

ここで、PDFプリンターを選び印刷したものがPDFでの表紙と早見表が 1 つの本になって印刷された SAMPLE_ITTAIGATA001.PDF (67ページ分)です。

このPDFから実際の紙に印刷もできますし、PDFのまま複製もできて、スマホ等に転送すればスマホ画面でもPDFを開いて早見表が使用できるものです。

概要／特長

機能の種類は大きく次の2種類です。

●通常タイプ（複数ページ）

何頁でも連続して計算印刷します。

- ◆任意設定タイプ
- ◆定型 オートローンタイプ
- ◆定型 ショッピングクレジットタイプ
- ◆融資タイプ（元利均等払）
- ◆表紙印刷

●簡略タイプ（1枚タイプ）

1枚に簡略してまとめた早見表

- ◆ショッピングクレジットタイプ
- ◆損害保険料ローンタイプ
- ◆融資／賦払率表

■■ 機能の特長

1. 複数ページの早見表と、一枚タイプの早見表が作成できます。
2. 一般的な定型タイプで簡単設定タイプと具体的に設定できる 任意設定タイプがあります。
3. 任意設定タイプでは、回数や実質年率設定、手数料設定などが非常に簡単に自動設定計算ができます。
4. 高金額の低回数を省略する「間引き印刷」も可能です。
5. 印刷ページ数も印刷前に確認でき、1ページ当たりの行数も
6. 任意設定ではボーナスX回払も計算表示できます。
7. ファイルの保存・呼出で、その後の加工も可能です。
8. 「早見表の見方」解説やボーナス回数早見表も出力し、表紙も多種パターンで選べます。

タイプ選択（メニュー）

各タイプを選択します。

1. 任意設定タイプ
2. 定型 オートローンタイプ
3. 定型 ショッピングクレジットタイプ
4. 融資タイプ（元利均等払）

●ファイル

ここでの「ファイルを開く」は、呼出・画面表示と印刷のみで呼出後に加工はできません。
加工する場合は、それぞれの画面でファイルを開いて加工します。

自由に各項目をリクエスト設定できます。

1. 分割単位

月々の分割単位です。

ショッピングクレジットなどは通常100円単位です。

無指定で何も入れずにEnterすると100円になります。

2. 回数設定

規定の回数選択で、簡単に回数設定できます。

例えば、3～36=1 を選べば

3・6・10・12・15・18・20・24・30・36 の10種類の回数が自動設定されます。

「個別=4」では自由に回数が設定でき、ボーナスN回払はB1・B2・・・BNの形で入力します。

3. 顧客手数料率設定

実質年率・月アドオン率では料率を入力すると、回数に応じて自動計算されます。

4. 所要資金

初期値 最低 10,000円以上です。

最終値 最高 20,000,000円までです。

5. きざみ

「きざみ」とは所要資金をいくらずつ増加させていくかのきざみです。

最高3種類のきざみが設定できます。

「～まで (円) きざみ (円)」の意味は、例えば

所要資金 500,000円までは、きざみ 10,000円ずつ

所要資金1,000,000円までは、きざみ 20,000円ずつ

所要資金を増加させて計算する。・・・ということです。

何も入れずにEnterすると無指定で適当なきざみが入力されます。

6. ボーナスきざみ

ボーナス加算額は、その加算額の合計が、

所要資金の $\frac{1}{6}$ $\frac{1}{3}$ $\frac{1}{2}$ の3種類として、

指定されたボーナスきざみ額で割り切れる金額となります。

例えば、500,000円の所要資金であれば

24回の場合

ボーナスきざみ 10,000円であれば、

$20,000 \times 4$

$40,000 \times 4$

$60,000 \times 4$

ボーナスきざみ 30,000円であれば、
30,000×4
60,000×4
(90,000×4) ←これは所要資金の50%を越えるので計算せず。
何も入れずにEnterすると、無指定で 10,000円が指定されます。

7. 月最低支払額

1,000円～50,000円
ショッピングクレジットなどでは通常は 3,000円です。
何も入れずにEnterすると、無指定で 3,000円が指定されます。

8. 1ページ当たりの行数

通常 A 4版では 50行、最高60行まで設定可能。
60行の場合は文字サイズが少し小さくなります。
何も入れずにEnterすると、無指定で 50行が指定されます。

9. ページ番号初期値

通常は「1」ですが、料率を変えて再度計算して、ページをつなげたい場合などに
リクエストします。
何も入れずにEnterすると、無指定で「1」が指定されます。

10. ファイル

ここでのファイル呼出は、加工し直しができます。
但し、回数の設定はできません。
拡張子は、「*.HM1」です。
このファイルの格納されているフォルダは、
タイトル画面のメニューの「ファイル」内の
「早見表ファイルを保存するディレクトリ指定」で指定します。

11. 高額の低回数の非表示

省略することができます。
「10回払は 50万円まで表示する」の形で上限金額を指定します。
これにより、ページ数が多い場合などに間引くことができます。
何も入れずにEnterすると、無指定で規定の回数が指定されます。

12．ページカウント

印刷前に、何ページにわたるのか、ページ数を把握できます。

紙の用意や、印刷時間やその手間ひまを考慮できます。

13．両面印刷用

裏表にコピーするのに適する様に、左右対称のマージンが設定できます。

このソフトで裏表印刷するわけではありませんので、ご注意下さい。

定型 オートローンタイプ

一般的なオートローンに対応して、回数やきざみ、あるいはボーナスきざみ等を定型として入力項目を最低限にしたパターンです。

■■定型分

1. 回数（定型）

回数は下記の規定となります。

6・10・12・15・18・20・24・30・36・42・48・54・60回の13種類

2. ボーナス加算額

3・5・7・10・15・20・25・30万円の8種類で所要資金額に自動対応します。

3. きざみ

きざみテーブルにより自動で刻まれます。

■■入力分

1. 分割単位

月々の分割単位です。

通常100円単位です。

無指定で何も入れずにEnterすると100円になります。

2. 顧客手数料率設定

実質年率・月アドオン率では料率を入力すると、回数に応じて自動計算されます。

3. 所要資金

初期値 最低 500,000円以上です。

最終値 最高 8,000,000円までです。

4. 月最低支払額

1,000円～50,000円

オートローンなどでは通常は 5,000円です。

何も入れずにEnterすると、無指定で 5,000円が指定されます。

5. 1ページ当たりの行数

通常 A4版では 50行

最高60行まで設定可能。

60行の場合は文字サイズが少し小さくなります。
何も入れずにEnterすると、無指定で50行が指定されます。

6. ページ番号初期値

通常は「1」ですが、料率を変えて再度計算して、ページをつなげたい場合などにリクエストします。

何も入れずにEnterすると、無指定で「1」が指定されます。

7. ファイル

ここでのファイル呼出は、加工し直しができます。

但し、回数の設定はできません。

拡張子は、「**.HM2」です。

このファイルの格納されているフォルダは、タイトル画面のメニューの「ファイル」内の「早見表ファイルを保存するディレクトリ指定」で指定します。

8. ページカウント

印刷前に、何ページにわたるのか、ページ数を把握できます。

紙の用意や、印刷時間やその手間ひまを考慮できます。

9. 両面印刷用

裏表にコピーするのに適する様に、左右対称のマージンが設定できます。

このソフトで裏表印刷するわけではありませんので、ご注意下さい。

定型 ショッピングクレジットタイプ

一般的なショッピングクレジットに対応して、回数やきざみ、あるいはボーナスきざみ等を定型として入力項目を最低限にしたパターンです。

■■定型分

1. 回数（定型）

回数は下記の規定となります。

3・6・10・12・15・18・20・24・30・36回の10種類

2. ボーナス加算額

2・3・5・7・10万円の5種類で所要資金額に自動対応します。

3. きざみ

きざみテーブルにより自動で刻まれます。

■■入力分

1. 分割単位

月々の分割単位です。

通常100円単位です。

無指定で何も入れずにEnterすると100円になります。

2. 顧客手数料率設定

実質年率・月アドオン率では料率を入力すると、回数に応じて自動計算されます。

3. 所要資金

初期値 最低 50,000円以上です。

最終値 最高 1,000,000円までです。

4. 月最低支払額

1,000円～50,000円

ショッピングクレジットなどでは通常は 3,000円です。

何も入れずにEnterすると、無指定で 3,000円が指定されます。

5. 1ページ当たりの行数

通常 A4版では 50行

最高60行まで設定可能。

60行の場合は文字サイズが少し小さくなります。
何も入れずにEnterすると、無指定で50行が指定されます。

6. ページ番号初期値

通常は「1」ですが、料率を変えて再度計算して、ページをつなげたい場合などにリクエストします。
何も入れずにEnterすると、無指定で「1」が指定されます。

7. ファイル

ここでのファイル呼出は、加工し直しができます。
但し、回数の設定はできません。
拡張子は、「**.HM2」です。
このファイルの格納されているフォルダは、
タイトル画面のメニューの「ファイル」内の
「早見表ファイルを保存するディレクトリ指定」で指定します。

8. ページカウント

印刷前に、何ページにわたるのか、ページ数を把握できます。
紙の用意や、印刷時間やその手間ひまを考慮できます。

9. 両面印刷用

裏表にコピーするのに適する様に、左右対称のマージンが設定できます。
このソフトで裏表印刷するわけではありませんので、ご注意下さい。

融資タイプ（元利均等払）

融資などに対応した早見表です。

1. 分割単位

月々の分割単位は1円単位に固定で、指定できません。

2. 回数設定

規定の回数選択で、簡単に回数設定できます。

例えば、6～84=1 を選べば

6・12・18・24・30・36・42・48・54・60・72・84 の12種類の回数が自動設定されます。

「個別=4」では自由に回数が設定できます。

3. 顧客手数料率設定

実質年率・月アドオン率では料率を入力すると、回数に応じて自動計算されます。

4. 所要資金

初期値 最低 20,000円以上です。

最終値 最高 99,900,000円までです。

5. きざみ

「きざみ」とは所要資金をいくらずつ増加させていくかのきざみです。

最高3種類のきざみが設定できます。

「～まで（円） きざみ（円）」の意味は、例えば

所要資金 500,000円までは、きざみ 10,000円ずつ

所要資金1,000,000円までは、きざみ 20,000円ずつ

所要資金を増加させて計算する。…ということです。

何も入れずEnterすると無指定で適当なきざみが入力されます。

6. ボーナス加算

ボーナス加算額は所要資金の30%と50%の2種類のみです。

1万円単位。

7. 月最低支払額

3,000円～300,000円

通常は 5,000円です。

何も入れずにEnterすると、無指定で5,000円が指定されます。

8. 1ページ当たりの行数

通常 A4版では 50行

最高60行まで設定可能。

60行の場合は文字サイズが少し小さくなります。
何も入れずにEnterすると、無指定で50行が指定されます。

9. ページ番号初期値

通常は「1」ですが、料率を変えて再度計算して、ページをつなげたい場合などにリクエストします。

何も入れずにEnterすると、無指定で「1」が指定されます。

10. ファイル

ここでのファイル呼出は、加工し直しができます。

但し、回数の設定はできません。

拡張子は、「*.HMZ」です。

このファイルの格納されているフォルダは、
タイトル画面のメニューの「ファイル」内の
「早見表ファイルを保存するディレクトリ指定」で指定します。

11. 高額の低回数の非表示

高額所要資金、例えば所要資金200万円では、通常ほとんど利用のない6回や12回等は、省略することができます。

「12回払は 150万円まで表示する」の形で上限金額を指定します。

これにより、ページ数が多い場合などに間引くことができます。

何も入れずにEnterすると、無指定で規定の回数が指定されます。

12. ページカウント

印刷前に、何ページにわたるのか、ページ数を把握できます。

紙の用意や、印刷時間やその手間ひまを考慮できます。

13. 両面印刷用

裏表にコピーするのに適する様に、左右対称のマージンが設定できます。

このソフトで裏表印刷するわけではありませんので、ご注意下さい。

表紙印刷（手数料条件非表示）

表紙や解説書などを印刷します。

ここでは、手数料表示の指定をしても、手数料の入力をしていないので、
手数料の表示はできません。

手数料表示の表紙は早見表情報各項目を入力後（保存ファイルがあればそれでも結構です）
の表紙印刷画面で作成します。

下記はそれぞれ単独でも出力できます。

1. 表紙

8パターンより選択します。

パターン内容は

- ・タイトル名
- ・会社名
- ・店名
- ・TEL番号
- ・FAX番号
- ・手数料一覧（手数料抜きの枠だけ印刷）

以上の項目を掲載するかどうか選択する形となります。

2. 返済早見表の見方

早見表の見方を解説します。

ここでは、手数料一覧はやはり手数料抜きの枠だけの印刷となります。

表紙には料率表は無しとしてもこの返済早見表の見方には料率表を表示することもできます。

また、回数や料率表示しなければ枠だけの表示となります。それぞれ設定できます。

3. ボーナス回数早見表

支払開始月とボーナス月との組み合わせで、

ボーナス払が何回になるかを計算表示したものです。

表紙印刷（手数料条件一覧表示）

表紙や解説書などを印刷します。

- 早見表計算の条件各項目入力後に表紙作成画面へ、または
- 既に早見表計算の条件各項目入力後に保存したファイルを読み込んで表紙作成画面へ進むこともできます。

ここでは、手数料の入力済みですので、手数料表示の指定をすると、手数料一覧の表示ができます。

※ここで早見表条件情報を入力しないで、いきなり表紙に「手数料表示する」とすると、手数料が載っていない枠のみが載った表紙ができます。
後に一体型ではこの形でも早見表の条件情報を計算読みした手数料がこの表紙に表示されます。

下記はそれぞれ単独でも出力できます。

1. 表紙

8パターンより選択します。

パターン内容は

- ・タイトル名
- ・会社名
- ・店名
- ・TEL番号
- ・FAX番号
- ・手数料一覧（手数料一覧表を印刷）

以上の項目を掲載するかどうか選択する形となります。

2. 返済早見表の見方

早見表の見方を解説します。

ここでは、手数料一覧はやはり手数料抜きの枠だけの印刷となります。

3. ボーナス回数早見表

支払開始月とボーナス月との組み合わせで、ボーナス払が何回になるかを計算表示したものです。

表紙内容の登録

通常タイプ（複数ページ）での表紙に印刷される内容を登録します。

通常タイプ（複数ページ）／タイプ選択 画面のメニューバーの「設定」の「表紙内容登録」で登録します。

●項目

1. 会社名
2. 店名
3. TEL番号
4. FAX番号

ここで登録していても、実際の表紙印刷では、印刷するかどうか、改めて、選択できるものです。

●融資の表紙は枠付きの料率表は出ません。
（「早見表の見方」で年率が表示されます）

●一体型での表紙や早見表の見方では、表示される料率表は合体する早見表条件側の内容で表示されます。

マージン設定

●マージン選択

早見表の印刷のマージンを選択します。

片面印刷・・・左マージンはすべて同じマージンで印刷されます。

両面印刷・・・左右対称のマージンで印刷されます。

ここで印刷された早見表を原稿として、裏表にコピーする場合、両面印刷にします。

●ヘッダ

早見表各ページの上部に印刷表示したい文字を入力します。

通常は、何もなしで印刷します。

●左マージン微調整

今回の印刷だけの調整です。

ガイドに戻ったり、再起動した場合は、この微調整分はクリアされます。

通常は「初期設定」での「[プリンタマージン設定](#)」で設定しておく

随時そのマージンで印刷されます。

一部ページ印刷

一部のページのみ印刷ができます。

何Pから～何Pまで の形で入力すると、そのページだけ印刷されます。

これは、何十ページも印刷した後に、一部のページが破損したりした場合に、この機能で補充できます。

ファイルの新旧変換

このソフトでは使用するファイルを変更しました。
下記の以前のフォーマットでのファイルのままでは使用できませんので、
「ファイルの新旧変換」画面で新しいファイルを使って操作してください。

変更されるファイルは下記の通りです。

- 表紙関連ファイル (拡張子 ; *. HYS) この拡張子のファイルは使えない。
- 一体型ファイル (拡張子 ; *. AL1 *. AL2 *. ALZ) この拡張子のファイルは使えない。

	(旧)	(新)
変更型は	*. HYS	→ *. HSI
	*. AL1	→ *. AT1
	*. AL2	→ *. AT1
	*. ALZ	→ *. ATZ にファイル変換します。

● 変換方法

「タイトルメニュー」→「通常タイプ (複数ページ)」ボタンを押す→上のメニューバーの
「設定」→プルダウンメニューの「ファイルの新旧変換」から画面を出して行います。

旧拡張子のファイルを呼び出してボタンで変換します。

この他の拡張子のファイルはそのまま従来通り使います。

表紙と早見表が一つのファイルになったもの。

通常は表紙ファイルを読み込んで表紙を印刷して、何ページにもわたる早見表ファイルを読み出して印刷し、それぞれを一緒にして初めて印刷された本になった早見表として使用するわけですが、ここでは表紙情報と早見表情報が一つになったファイルにして一挙に保存・読み込み・印刷をするものです。

P D F など一つのファイルで表紙・早見表が一体になって保存するのにも非常に便利なものになります。

● 操作方法

○一体型の保存

1. 「タイトルメニュー」の「通常タイプ(複数ページ)」→「6. 表紙・早見表一体型」の「FL作成」ボタンで「表紙と早見表の一体型条件合体保存内容」の画面より
2. まず、「早見表の情報データ」ボタン(ファイルを開くボタンの最初のほう)で既に保存してある早見表の条件情報のファイルを読み込みます。
3. 次に「表紙の情報データ」ボタンで(ファイルを開くボタンの2番目のほう)で既に保存してある表紙の条件情報のファイルを読み込みます。
4. 2.と3.で読込んだ内容が画面に表示されますので確認します。
この時点で表紙と早見表情報が一体化されています。
5. 一体化されている情報を「表紙と早見表の一体型として保存する」3番目のボタンで名前をつけて保存します。

これで、一体型の保存は終了します。

○一体型の読み込みと印刷

次に保存した一体型ファイルを読み込んで印刷します。

1. 「タイトルメニュー」の「通常タイプ(複数ページ)」→「6. 表紙・早見表一体型」の「読み込み印刷」ボタンで「表紙&早見表一体型の読み込みと一括印刷」画面より
2. 「一体型ファイルを読み込み」ボタン(ファイルを開くボタン)で保存してある一体型のファイルを読み込み、画面に表示された内容を確認の上、印刷ボタンで印刷します。
3. この時プリンターの選択画面が出ますので、希望のプリンターを選択して印刷します。 4. ここでP D F プリンターを選択すると紙印刷ではなくP D F ファイルとなって保存されます。

※何十ページにもなりますといきなり紙印刷ですと時間もけっこう掛かりますので印刷結果を確認することも含め、一度PDFで保存しておいて、後で紙印刷することをお勧めします。

5. 表紙の条件と早見表の条件が違う場合
早見表の条件に合わせられます。

※表紙や「早見表の見方」で表示される料率表は合体する早見表条件側の内容で表示されます。
例：6%料率で作った表紙と5%条件で作った早見表と合体させて一体型にすれば表紙等には5%内容で料率表が表示されることになります。

PDF印刷(PDFファイル)のすすめ

早見表の印刷は実際の紙に印刷するか、PDFにしてPDFファイルにするか、印刷時にそのプリンターを選ぶ形になっています。

紙への印刷ですと、すぐ紙の本での現物が印刷されますが、多量の紙と時間が費やされてページ数によっては大変なものになりますが、

まず、PDFのプリンターで印刷すると、PDFファイルとなり、保存されることになります。

PDFからの実際の紙印刷はもちろんできますし、パソコン画面上で出来上がった早見表を簡単に確認できます。

また、そのPDFファイルをいくらでも簡単に複製できて、他のパソコンやスマホ等にメール添付で転送すれば、遠方地域でもすぐ紙印刷でき、スマホでもPDFを開いて使用できることになります。

印刷はまずPDFプリンター指定で印刷(PDFファイル)して、使用する方が安心して使いでがあるかと考えます。

入力方法

● 操作要領（全機能で共通した操作です。）

入力確定

数字を入力して、エンターキーを押すと、確定して次の項目に進みます。
タブキーや矢印キーでは移動だけで、確定しませんので注意。

項目移動

矢印キーもしくはマウスクリックで移動します。

戻り訂正

項目移動して、そのまま入力し直します。

チェック

全体的に、通常あり得ない数字等を入力した場合、
チェックがかかりますので安心して入力できます。

ファイル操作

1. ファイル格納フォルダの指定

メインタイトル画面の「ファイル」－「早見表ファイルを格納するフォルダ」の指定でフォルダを指定すると、以後、すべての早見表ファイルはそのフォルダに格納されます。

2. ファイルの呼出と加工

「通常タイプ（複数ページ）」－「タイプ選択」画面での呼出は加工ができません。「任意タイプ」や「定型 オートローン」などの画面からの呼出ファイルはそれぞれ加工可能です。但し、回数の加工はできません。

3. ファイルの種類と構成

通常タイプ（複数ページ）

(拡張子：内容)

- *.HM1：任意タイプ
- *.HM2：定型 オートローンタイプ
- *.HM2：定型 ショッピングクレジットタイプ
- *.HMZ：融資タイプ（元利均等払）

簡略タイプ（1枚タイプ）

(拡張子：内容)

- *.HP1：ショッピングクレジットタイプ
- *.HH1：損害保険料ローンタイプ

表紙

(拡張子：内容)

- *.HSI：表紙のファイル

表紙&早見表一体型

(拡張子：内容)

- *.AT1：任意設定タイプ
- *.AT2：定型タイプ（ショッピングクレジット・オートローン）
- *.ATZ：融資タイプ

MD電卓

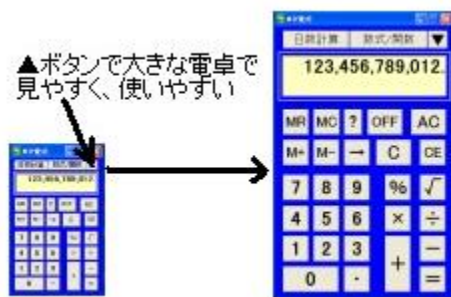
この電卓は、普通の電卓を独立したソフトとして付属させたものですので、MD電卓のみをショートカット作成してデスクトップなどに貼り付けることもできます。

MD電卓

普通の電卓です。

数字キーからの入力もできます。

上部のボタンから次の「日数計算」と「関数・数式電卓」を呼出できます。



日数計算

起算日と計算日の入力で日数を計算します。

年号表示・十二支・曜日・満年齢なども計算表示されます。

また、「この日から何日後は何年何月何日か」を計算する経過日数計算もできます。

入力は西暦・元号（H・R）のどちらでも可能です。

関数・数式計算

関数電卓として使用できます。

数式電卓として、あるいは変数入力計算もできます。

例えば、 $A = 56 \times 5 / (D + 8^{(-2)})$ $D = 123 / \text{Sqr}(8)$

などという複雑な変数での計算式で入力・計算を行います。

関数や演算子記号と変数を混合して使用できます。

変数はA～Zまで使用でき、変数の中にさらに変数を設定できます。

さらに、変数や計算式を保存・読込もできるものです。

インストールについて

1. 通常インストール

通常は、ランタイムファイル付きのフルパック版でインストールします。

このファイルはランタイムが付いている為、非常にファイルのサイズが大きくなっています。

既にこのソフトがある場合で、改めて重ねて通常インストールをする場合は、

必ず「コントロールパネル/アプリケーションの削除と追加」でこのソフトを削除してから、再インストールをして下さい。

削除しないで、そのままインストールしても新しいソフトに書き変わらないことがあります。

2. バージョンアップ時の差し替えインストール

バージョンアップ時では、ランタイムファイル等のこのソフト起動に必要な依存ファイルは、当初の通常インストール等で既にインストールされていますので、

ソフト本体（ヘルプ含み）のみの差し替えで済みます。

解凍後にそのソフト本体とヘルプファイルを通常は次のフォルダにソフトが所在しておりますのでコピーして貼り付けします。

C:\クレジット返済早見表作成\

OSについて

当ソフトは、Windows での VisualBasic 6.0 にて制作されています。

ランタイムファイル

ランチャタイムではありません。

このソフトは、VisualBasic 6.0 で作られています。

ソフト本体だけでは動きません。

このソフトを動かすソフトが必要になります。

それがランタイムファイルです。

フルパック版にはソフト本体とこのランタイムが付いています。

その為、非常にサイズが大きくなっています。

一度このランタイムをインストールしておけば、

次回からはソフト本体だけで動きますので、

バージョンアップの時などはソフト本体だけの差し替えで済みます。

サポート

サポートは下記メールのみにて行います。

Mr . D r a g o n
monsh@msi.biglobe.ne.jp

※サポートは作者の可能な範囲での対応となります。
問題の解決を保証するものではありません。

ユーザー登録

■■ 登録料のお支払い

このソフトはシェアウェアです。

試用期間は30日間です。

継続ご使用は、次の2通りの方法で登録料をお支払いの上、通知されたパスワード（解除キー）を入力すると、以後継続使用できます。

登録料は1件 1575円です。

（1台のコンピュータで1件の登録料となります）

次の2通りのいずれかでお支払い下さい。

● 登録料支払方法

1. ベクター社のシェアレジにてクレジットカード決済頂きますとベクターよりパスワード（解除キー）が即座に通知されます。

2. 指定銀行口座へ振り込みの上、下記のメールアドレスへ

- ・振り込んだ旨と、
- ・ソフト名 「クレジット返済早見表作成」
- ・あなたの名前とメールアドレスをEメールして下さい。

確認の上、すぐにパスワードを通知致します。

メールアドレス：monsh@msi.biglobe.ne.jp

指定銀行は、ソフトのタイトル画面の「登録要領」ボタンで案内される銀行口座をご参照下さい。

■■ パスワード登録

通知されたパスワード（解除キー）は、タイトル画面の「パスワード」ボタンを押すとパスワードダイアログが出ますので、パスワードを入力して「OK」ボタンを押すと制限解除され、以後継続使用できるようになります。

※パスワードは半角の大文字で入力してください。

注意事項について

このソフトは、一般的な方法での計算としています。
金融機関や会社、あるいは地域等によって計算方法や考え方が異なる場合があります。
また、計算内容によっては誤差が生じる場合がありますので、
このソフトの計算結果は目安としてご利用下さい。

尚、このソフトによって生じた問題について、
作者は一切責任を負いません。

プリンタマージン設定

通常タイプ（複数ページ）の印刷のマージンを設定します。

プリンタの機種やメーカーによって生じる印刷文字などのズレを調整します。

通常タイプ（複数ページ）／タイプ選択 画面のメニューバーの「設定」の「プリンタマージンの設定」で登録します。

2～3 ページを仮に印刷してみて調整して下さい。